

全日中事務局だより

今年も残りわずかになりました。この4月から公立中学校では新学習指導要領による教育を全面的に展開することになります。各中学校では数年間にわたり、教職員はもとより生徒や保護者、地域に対して学習指導要領改訂の意義やその実施による教育課程の変更とそれに伴う生徒の学習時間や学習内容の変化等について周知されてきたことと推察いたします。

全日中は、これまで新学習指導要領の実施に向けて条件整備の必要性を訴えて参りましたが、国や地方の財政難のためなかなか思うようには改善されていないのが実情と言えます。

ところで、近年、OECDによるPISA調査における日本の調査結果が芳しくないと言われ、今回の学習指導要領の改訂も「学力向上」に重きを置いたもので、PISA調査結果を意識

取り入れたり、選択教科履修幅の拡大等努力を重ねてきました。2009年の調査結果がそれまでの2回の調査結果より高い結果が出ているのは、そうした努力の積み重ねによる成果が大きいと考えております。

こうした中で、不登校や欠席の生徒数も減少傾向を示すなど、長期的に展望すると、学習の評価の在り方をはじめ解決を要する課題はあるものの、1998年改訂の学習指導要領下における学校教育は好ましい方向に転じつつあったと考えております。

次年度からは各学年とも35時間授業時数が増えます。このうち、外国語は各学年で35時間増、全校では105時間増です。数学は1年と3年が35時間増、理科が2年で35時間増、3年で40時間増となり国語、社会、保健等の授業時数も増となります。

これまでは、選択教科や総合的な学習の時間等を工夫することで、教員の

している向きもあるようです。

ピサ調査における読解力、数学的リテラシー、科学的リテラシーの日本の平均点

	2000年調査 平均点	2003年調査 平均点	2006年調査 平均点	2009年調査 平均点
読解力	522	498	498	520
数学的リテラシー		534	523	529
科学的リテラシー			531	539

(2011年 OECD 文書より)

2000年の調査結果は、中学校の場合1998年度改訂の学習指導要領下で教育された中学3年生の学力調査結果であり、総合的学習の導入や学校週5日制の導入により従前の学習指導要領下で教育された生徒たちより、教科時数が3割削減された教育を受けた生徒たちの学力を示したものです。2003年、2006年の調査では2009年の調査より低い調査結果が出ていますが、この時期は、2002年に導入された絶対評価を各学校が咀嚼しながら実践するという状況で、指導と評価の一体化による成果が十分にあげられないジレンマの時代であったのではないかと考えます。

しかし、この間、全国の中学校では、各教科、特別活動、道徳と総合的な学習の時間の相互補完のカリキュラム開発や実践、改善に取り組むなどの努力を積み重ねてきました。また、少人数指導や、習熟度別指導なども積極的に

持ち時数がある程度調整することができましたが、新学習指導要領では選択教科が無くなり、総合的な学習の時間の時数も縮減されているため、各校とも教科担当教員の配置に頭を抱えるケースも少なくないのではないかと推察しております。

全日中は、引き続き新学習指導要領下で従前より豊かな教育成果を上げるためには条件整備が必要であること、とりわけ人的条件の整備が不可欠であることを政府や文部科学省をはじめとする関係省庁に訴えて参ります。

第2回基金管理運営委員会

1月26日(木) 13時～13時30分

第4回常任理事会

1月26日(木) 13時30分～17時

(全日中会館・4階会議室)

第4回理事会

1月27日(金) 10時～17時

(国立オリンピック記念青少年

年総合センター・国際会議室

一、報告

全日中研究協議会埼玉大会報告 他

二、協議

- (1)第63回総会関係、(2)第63回全日中研究協議会埼玉大会、(3)第64回全日中研究協議会福井大会、(4)平成24年度第46回役員会、(5)中学校教育に関する調査、(6)平成25年度「文教関係立法・予算措置等要望」についての調査、(7)平成25年度全日中行事(案)
- 三、情報交換

〔未定〕

会員計報

福井県美浜町美浜中学校長

北山法夫様 六十歳 九月二十五日

(事務局長 青柳 修治)